

第1回理事会を開催

令和6年3月18日（月）、第1回理事会を友愛会館で開催したので報告します（協議事項のみ）。

<議長あいさつ>

世界ではウクライナ戦争が泥沼化し、北朝鮮はミサイルの発射を繰り返している。またロシアではプーチン大統領が選挙で圧勝し、核兵器の脅威が続いている。こういう状況だからこそ、KAKKIN運動が重要になってきている。またKAKKINはエネルギー問題にも取り組んでおり、それは私たちの生活にも結びついている。これは私たちの運動の方向性の正しさを示すものだろう。引き続きのご協力をお願いして冒頭のご挨拶とする。

<協議事項>

1. 令和6年度の具体的活動について

- (1) 平和集会は、8/5 広島地方平和集会、8/8 長崎平和全国集会とする。会員組織、地方KAKKINには、長崎集会への参加を呼びかける。
- (2) 被爆者支援は基本的に従来の考え方に沿って実施する。なお10月に韓国被爆者支援の訪問団を派遣する。
- (3) 原子力発電所視察は、5月21日に関西電力・大飯発電所を計画。
- (4) 研修会は6/3(月)、友愛会館で開催する。演題と講師は以下の通り。
 - ・「これからのエネルギーミックスと3Eをどう考えるか」（仮題）
講師：常葉大学名誉教授 山本隆三氏
 - ・「核軍縮・核廃絶と日本の安全保障」（仮題）
講師：一橋大学大学院教授 秋山信将氏

2. 平和建設基本問題委員会（平和委）からの提言について

平和委のもとに設置した政策検討ワーキンググループからの報告をもとに、平和委から以下の8項目をKAKKINの主張とするよう提言があり、確認した。

1. 核兵器廃絶に関する主張

- (1) 包括的核実験禁止条約（CTBT）の発効
- (2) 兵器用核分裂性物質生産禁止条約（FMCT）の政治合意の実現
- (3) 消極的安全保証（NSA）の条約化
- (4) 核兵器不拡散条約（NPT）の強化と核兵器禁止条約（禁止条約）
- (5) ジュネーブ軍縮会議の再活性化（軍縮特別総会の開催）
- (6) 先制不使用宣言・唯一目的化宣言
- (7) 非核地帯構想

2. 原子力の平和利用推進に関する主張

- (1) 戦時における原子力施設の防護について

3. 政策要請活動の実施について

4～5月、国民民主党、立憲民主党、公明党、自民党、外務省、経済産業省に政策要請を行う。その要領と要請書の内容を確認した。

4. 当面の日程について（略）

以上